

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

### 事業名 日中一時支援事業補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2535)

E-mail： c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 175 千円 (前年度予算額：175 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	175	57	0	0	0	0	0	0	118
要求額	175	57	0	0	0	0	0	0	118
決定額	175	57	0	0	0	0	0	0	118

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

低出生体重児の増加により、県内の各医療機関のNICU病床は常に満床状態が続いているため、日中一時支援事業を実施し、在宅に移行したNICU等長期入院児を受け入れる体制を整備することにより、安心して在宅療養等に移行できる体制を整備し、NICU病床等の満床状態の解消を図る。

### (2) 事業内容

在宅療養等に移行したNICU等長期入院児等を保護者の要請に応じて、一時的に受け入れができるようにするため、病床の確保に必要な医師、医療従事者の確保に係る人件費、運営に係る材料費等及び、看護師等の確保に係る人件費の財政的支援を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

**負担区分：国 1 / 3、県 2 / 3**

N I C U等の恒常的な満床状態の解消と小児在宅医療への円滑な移行促進の体制整備のため、県が本事業を実施することは妥当である。

○補助対象医療機関：長良医療センター

・病床確保経費： 1 3 7 千円

・看護師等確保経費： 3 8 千円

合計 1 7 5 千円

○補助額

	国費	県費	合計
病床確保経費	4 5 千円	9 2 千円	1 3 7 千円
看護師等確保経費	1 2 千円	2 6 千円	3 8 千円
			1 7 5 千円

( 4 ) 類似事業の有無

無

**3 事業費の積算内訳**

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	175	日中一時支援施設の運営費に係る補助金
合計	175	

**決定額の考え方**

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

低出生体重児の増加により、県内の各医療機関のNICU病床は常に満床状態が続いているため、日中一時支援事業を実施し、在宅に移行したNICU等長期入院児を受け入れる体制を整備することにより、安心して在宅等に移行することができ、NICU病床等の満床状態の解消を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

### ○指標を設定することができない場合の理由

運営費補助であることから、指標を設定することはできない。  
また、患者側の利用意思の有無によるため、指標の設定に適さない。

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

在宅療養等に移行したNICU等長期入院児等を保護者の要請に応じて、一時的に受け入れるため、病床の確保に必要な経費を補助する

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

日中一時支援事業を実施し、在宅等に移行したNICU等長期入院児を受け入れる体制を整備することにより、保護者の労力の軽減が図られるため、安心して在宅等に移行してもらうことができ、その結果、NICU病床等の満床状態の解消が期待できる。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い	
(評価) ○	県内のNICU病床は常に満床状態が続いている。日中一時支援事業を実施することにより、保護者の負担軽減及びNICU病床等の満床状態の解消につながるため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	本事業の実施により保護者の労力の一時的な軽減につながることで、安心して在宅等への移行が行われ、その結果、NICU病床等の満床状態の解消が図られるため有効である。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある	
(評価) ○	国費及び県費を併用し効率的に補助を行うことにより、事業が実施されている。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 長良医療センターのNICU病床は満床状態が恒常化しており、本事業によって、入院患者に在宅医療の一つの選択肢を提供することで、NICUの満床状態の緩和、新たな低出生児の受入れが可能となることが期待できる。 しかし、NICU入院患者は在宅療養への移行が可能な患者ばかりではないため、満床状態の緩和に向けては、在宅療養への移行が可能な患者に対する情報発信が重要となっている。	
---	--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか NICU病床等の満床状態の解消は、新たな低出生体重児等の受入れを行うためにも非常に重要なため、今後も継続して事業を実施していく。	
---	--